

県指定 有形文化財

## 大師庵宝塔



塩見区黒岩峠の大師庵の前庭西側に2基並んでおり、基壇・基礎・塔身・笠・相輪からなる。基壇上部四面に八葉の腹弁を陽刻している。塔身に貞和五年(1349)十月二十八日と北朝年号が陰刻されている。笠石の軒の厚さ、反りや軒両端の線は時代をよく反映し露盤、伏鉢、請花彫刻は特に優れている。この塔の特徴は、基壇上部四面に彫られた返り花であるが、全体的に彫りは深く、各蓮弁の形に丸みをもたせ、各弁を両側から押し上げるようによくまとめている。